



月水金発行
薬事日報社
東京本社 〒101-8648
東京都千代田区神田和泉町1
☎ (03) 3862-2141
FAX (03) 5821-8757
大阪支社 〒541-0045
大阪市中央区道修町2-1-10
☎ (06) 6203-4191
FAX (06) 6233-3681
購読料 半年19,764円
(税込) 1年36,234円

きょうの紙面

- ガゼー適正使用で声明
- 肥満学会……………②
- 香港の店舗に広告賞
- マツキヨココカラ…⑥
- 濱田最高顧問が死去
- 東邦HD……………⑦
- 特集 ④～⑤
- 〈世界エイズデー〉

本号8ページ

広島県の備北地区(三次市、庄原市)において地域フォーミュラリの取り組みがスタートした。同地区の4病院で構成される地域医療連携推進法人「備北メディカルネットワーク」が今年度、広島県からモデル事業の委託を受けて取り組みを開始し、8月末からスタテンなど3領

域で運用を始め、12月上旬には新たに3領域を追加する見通しだ。医療資源の乏しい同地区では、病院や診療所間で連携しようとする医師の意識が強い。医師主導型の取り組みとして策定や運用は順調に進展しており、今後は実際の処方の変化が焦点になりそうだ。

医師が主導し運用進展

7月に、備北メディカルネットワークが事務局となつて「備北地区地域フォーミュラリ委員会」が発足。同地区の病院長や医師会、歯科医師会、薬剤師会の会長ら8人が委員に就き、討議を重ねてきた。同委員会のもと設置したワーキンググループで、各病院の診療科長や薬剤部長ら15人が原案を作成。オプザバーとして参加した日本フォーミュラリ学会、広島県の薬剤師会や病院薬剤師会関係者の意見も得て、内容や運用方法をまとめた。

現在、新たにα-グルコシダーゼ阻害薬▽消炎・鎮痛薬▽第2世代抗ヒスタミン薬——の3領域を対象にフォーミュラリの策定を進めており、関係者間ではほぼ合意に達した。12月上旬に運用を始める計画だ。

日本フォーミュラリ学会が公表するモデルをたたき台に検討を進めたことで、短期間で効率的に策定できた。同学会のモデルでは採用されていない薬を患者が使用していたり、退院時にその逆のことが起こったりする。地域の中であるべく同じ薬を使うことで、標準的な治療を行えるようにす

るのが趣旨」と語る。一般的には、医師の理解不足が地域フォーミュラリ策定のハードルになる。同地区では施設の壁を越えて連携しようとする医師の意識が強く、策定から運用開始までの作業は円滑に進んだという。

今後は、地区全体にいかん浸透させるかが課題だ。9月に地区の医療従事者らを対象に説明会が開かれたほか、基幹病院のウェブサイトに地域フォーミュラリを公表した。A4サイズ用紙で複数ページに及ぶ各フォーミュラリの要点を1枚にまとめた簡易版も作成した。病院や診療所の診察室等に貼付し、活用してもらう想定だ。

今月、12月の処方動向について、前年同期と比べた変化を追跡して効果を評価する。医療従事者の理解度の運用開始前後での変化も調査する。

広島で地域フォーミュラリ

備北地区、来月6領域に

まず取り組みやすい合意が得られやすい領域に対象を絞り、8月末に第1弾となる地域フォーミュラリとして、▽スタチン▽アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)▽経口酸分泌抑制薬(PPI、P-CAB)——の3領域を策定した。複数の推奨薬やオプションでの使用薬を一般名で提示し、後発品が推奨対象になると明記。推奨薬の順位づけも行った。

備北は医師数や医療機関の数が少ない地区だ。こうした背景から、2017年

の運用開始前後での変化も調査する。

永澤氏は「長い目で変わっていくものだと思う。地区の大きな4病院が一致した動きをすることが第一。それによって自然に統一されるのではないか。処方動向の集計で各病院の処方の変化が分かる。それを踏まえた情報発信もしていきたい」と語る。

広島県は、モデル事業を踏まえ全県下での展開を見据えるが、早急に推進するのではなく、モデル事業の成果や課題の検証を経て、今後の方向性を検討する考えだ。

備北メディカルネットワーク代表理事で医師の中野敏夫氏は、「フォーミュラリは強制ではなく、お願いする格好になる。強制力を持つたやり方はしていない」と話す。

永澤氏は「長い目で変わっていくものだと思う。地区の大きな4病院が一致した動きをすることが第一。それによって自然に統一されるのではないか。処方動向の集計で各病院の処方の変化が分かる。それを踏まえた情報発信もしていきたい」と語る。